

「隅田川SDGs ごみ一つ残さないプロジェクト」に取り組んで（報告） ～海洋へのごみ流出防止に貢献する「隅田川キープクリーンアクション」～

東京都環境科学研究所 研究調整課 庶務係 仲居 晃義

「隅田川SDGs ごみ一つ残さないプロジェクト」とは

- 多様化する環境問題に向けて地球規模で気候危機が迫る中、海洋汚染は解決すべき重要な課題であり、SDGsの目標として掲げられた海洋汚染の回避に貢献するため、公社内部の取組として「サステナビリティ・チャレンジ」の取組を推進している。
- テーマの1つである「隅田川SDGs ごみ一つ残さないプロジェクト」は地域住民や事業者、団体等が一体となったアクションの形成に向けて、公社自ら率先して清掃活動や河川ごみの普及啓発等を行う取組である。

PT(プロジェクトチーム)としての取組

～隅田川をとりまくプラスチックごみの実態調査～



- 隅田川の2カ所（新豊橋・白鬚橋）でプラスチックごみ調査を実施
- 河岸植栽帯プラごみ、隅田川テラス、河川水のマイクロプラスチックの実態を確認

海洋へのごみ流出防止や隅田川環境保全のため、隅田川をとりまくプラスチックごみ現状を明らかにする

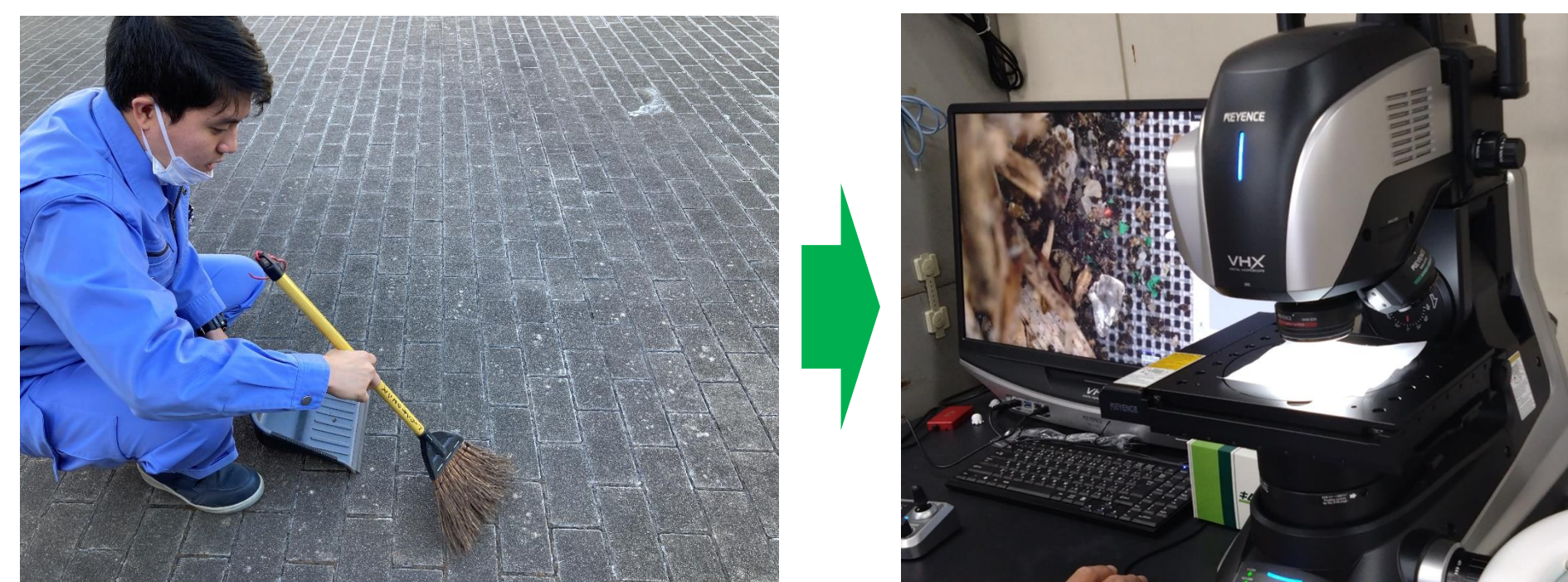
（ひとりひとりの環境への意識が、きれいな隅田川へとつながっていきます！）

ドローンを活用した 河岸植栽帯のプラごみ調査



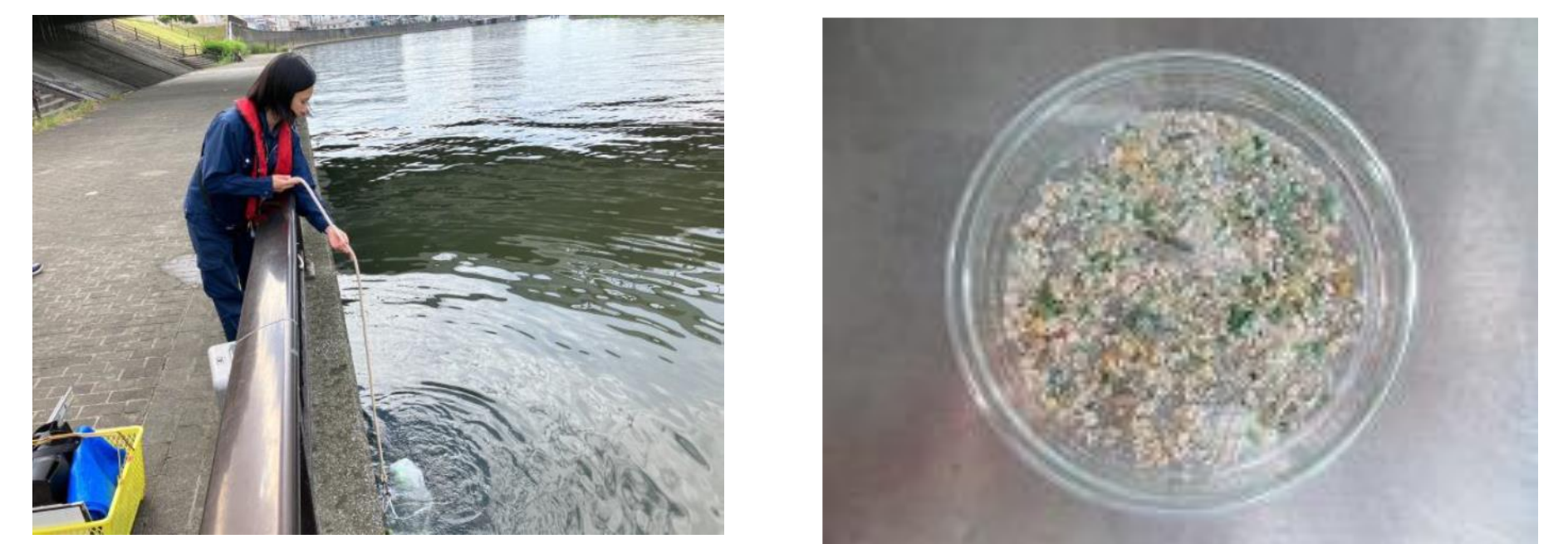
- ドローンに搭載したカメラで植栽帯を撮影
- 画像解析により、ゴミの個数と面積を算出

隅田川テラスの マイクロプラスチック調査



- 隅田川テラスで一定面積（50×50cm）を掃き掃除
- 比重分離などの前処理ののちマイクロプラスチックを観察

河川水中の マイクロプラスチック調査



- 角形プランクトンネットを使って浮遊ごみを採取（新豊橋：河岸、白鬚橋：流心）
- 比重分離などの前処理ののちマイクロプラスチックを観察

隅田川のプラスチックごみの実態

河岸植栽帯

| ごみの数量 | 新豊橋 | | 白鬚橋 | |
|--------|-----|----------------------------|-----|----------------------------|
| | 数量 | 単位面積の ごみの数量 (個/100㎡) | 数量 | 単位面積の ごみの数量 (個/100㎡) |
| 金属 | 1 | 0.2 | 1 | 0.3 |
| プラスチック | 26 | 6.2 | 4 | 1.2 |
| ゴム | 1 | 0.2 | — | — |
| 紙 | 1 | 0.2 | — | — |
| 合計 | 29 | — | 5 | — |

↑ 新豊橋のほうがごみの数量が多い。
ごみの種別はプラスチックが多かった。

↓ プラごみで多く確認されたもの



プラスチック片



不織布マスク

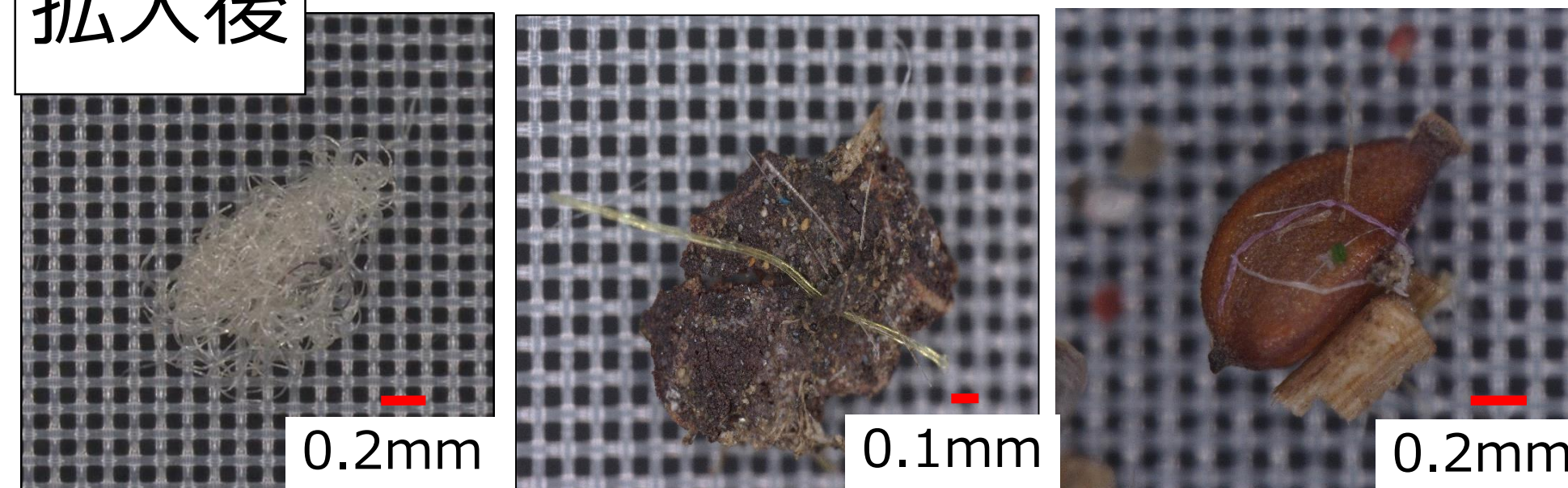
タバコのフィルタ

隅田川テラス

全体



拡大後



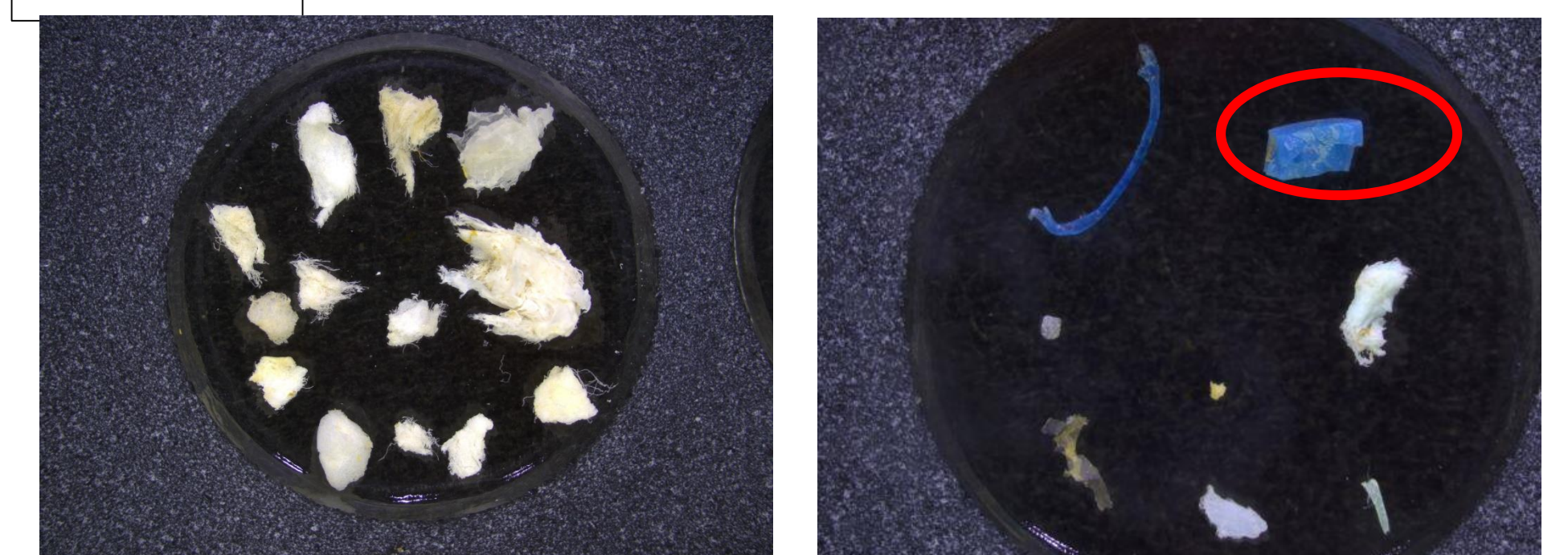
↑ 試料には繊維状プラスチックが多かった。

河川敷で多く確認されたが、現代の衣類の60%はポリエステルやナイロンでできており、着ている人が歩行等を行うことで排出されると考えられる。

隅田川河川水

確認されたMPs候補粒子

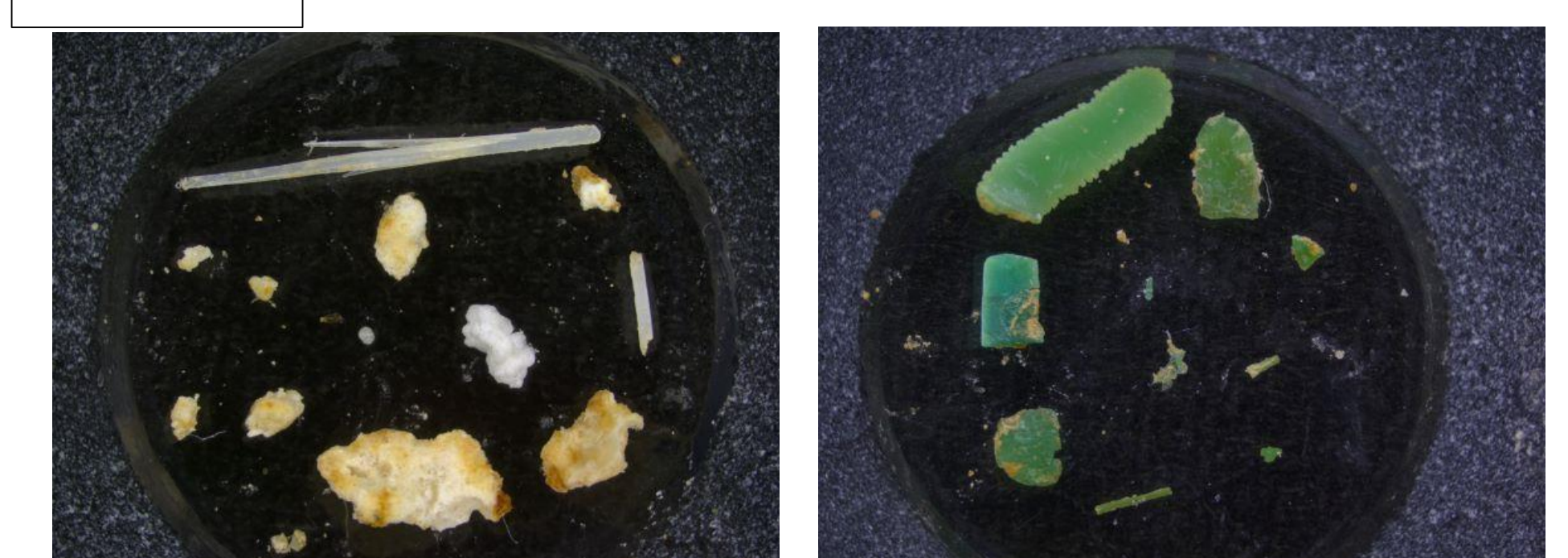
新豊橋



発泡スチロール

ブルーシート

白鬚橋



発泡スチロール

人工芝

↑ 新豊橋は白鬚橋より、発泡スチロールが多かった。

新豊橋は近くに団地が多いことや、風で吹き寄せられ発泡スチロールが河岸に堆積したと考えられる。